授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
地域・在宅看護援助論Ⅱ	2年次	後期	1	30	有

科目責任者	西村禎子
授業概要	在宅で医療を受ける対象者と家族に対して安全、安楽、権利を尊重しながら、治療・処置、看護を提供する技術を学ぶ。
目標	1.在宅で医療処置を受ける療養者に対して、安全に実施する方法と留意点を理解する。 2.在宅における医療処置に対して起こりうる危険と対処方法（予防方法）を理解する。 3.在宅で医療処置を受ける療養者と家族への必要な指導内容・方法を理解する。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	在宅医療技術（ストーマ）の実践	臨床看護師	講義
2	暮らしの場で看護をするということ（生活行為を支える看護）	西村	講義・演習
3	セルフケアを支える対話・コミュニケーション	西村	講義・演習
4	療養者・家族の意思決定を尊重する対話・コミュニケーション	西村	講義・演習
5	暮らしの場における安全を守る看護	西村	演習
6	地域における暮らしを支える看護実践 （ALS、終末期、脳性麻痺、COPD、脳梗塞）	西村	演習
7		西村	講義・演習
8	食生活・嚥下に関する在宅看護技術 （胃瘻からの経管栄養、合併症）	西村	講義・演習
9	排泄に関する在宅看護技術 （尿道留置カテーテルの管理とケア）	西村	講義・演習
10	呼吸・循環における医療管理レベルの高い療養者の援助 （在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法、排痰法）	西村	講義・演習
11	終末期の療養者の看取りの支援 （終末期・臨死期の状況と心理的な準備、家族調整への援助）	西村	講義・演習
12	在宅における医療処置・管理を要する人の看護 （在宅中心静脈栄養）	西村	演習
13	在宅における医療処置・管理を要する人の看護 暮らしを支える在宅看護技術とその応用 （急性増悪、看取り、医療機器のトラブル、非常事態）	西村	演習
14		西村	演習
15	終講試験	西村	試験

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門分野　地域・在宅看護の実践　地域・在宅看護論2　医学書院
参考書	なし
評価方法	試験（80%）参加度（20%）：出欠席、グループワーク役割・貢献度、個人成果物、提出物